

令和2年度 第3学期終業式 式辞

みなさん、おはようございます。

今日は令和2年度の締めくくり、3学期の終業式です。今日も、残念ながら皆さんの顔を見てお話しすることはできませんが、このように3学期の終業式を無事に行うことができ、たいへんうれしく思います。

それでは、今日は、前半は今年1年間を振り返ってのお話、そして後半は次なる新しい年に向けてのお話をしたいと思います。

この1年を振り返りますと、新型コロナウイルスの感染拡大により、学校だけではなく世の中のありようが大きく変わった1年でした。昨年3月2日から全国一斉の臨時休業となり、ここ滋賀県においても、小中高等学校、特別支援学校が臨時休業となりました。1年生の皆さんは、希望に胸を膨らませて入学式に臨みましたが、その後また、臨時休業となり新たな高校生活に慣れ、新しい友達を作る大切な時間がなくなりました。6月に学校が再開されてからも、高校生活に慣れ、スムーズに学校生活を送ることが難しかったのではないかと思います。そんな中、学習に部活動に本当によく頑張ってくれました。

また2年生の人は、新しい学年となり、新しいクラスの友達との生活を楽しみにしていたことと思いますが、それもかないませんでした。2年生は1年生の緊張感がなくなりいろいろなことがルーズになりがちですが、皆さんはそういうこともなく、検定試験等にも意欲的に取り組んでくれました。

それから、2年生の人にとっては最も大きなイベントである修学旅行については、当初の予定を変更して、一旦行き先や時期の変更をして何とか実施する方向で考えていましたが、最終的には中止の判断をしました。やむを得ないこととはいえ、2年生の皆さんには、大変残念な思いをさせてしまって、申し訳なく思っています。

6月から学校が再開されましたが、春の高体連、高文連の大会、インターハイ、夏の甲子園など、大きな行事が中止となり、夏休みも短縮されました。このような状況の中で、学校では大変苦しい判断ではありましたが、翔陵祭も中止することとしました。またこの時、文化部の皆さんが活動の成果を発表する機会を設けたいとお話をしていましたが、残念ながらそれも果たすことができず、申し訳なく思っています。

このように異例づくめの1年ではありましたが、3年生の皆さんは、それぞれの進路を決め、3月1日、満面に笑みを浮かべて卒業して行ってくれました。

今振り返ってみると、私自身、今年は出来なかったことや残念だったことばかりが目立つ1年でした。だからこそ、いつものように学校へ行き、授業を受け、クラブ活動を

する、学校行事でみんなと楽しい時間を過ごすといういつもの生活がいかに貴重なものであるかということ、そしてそれは当たり前のことではないということに改めて感じた1年でした。そして、日々の何気ない時間をいかに過ごすべきかということを考えさせられた1年だったと思います。言い換えると、これまでの私たちの生活の中で、「こうすべき」とか「こうあるべき」、「これが当たり前」と考えられてきたものが決してそうではないということがわかったこと、これが、今回のコロナ禍の中での大きな収穫ではないでしょうか。

このような観点から、明日から迎える春季休業をいかに過ごすかというお話をしたいと思います。

SDGsという考え方があります。皆さんも知っているかと思いますが、これは、持続可能な開発目標と言われるもので、2015年の国連サミットで採択され、国連加盟の193か国が2016年から2030年までの15年間で達成するために掲げられた目標です。17の大きな目標とそれらを達成するための169のターゲットで構成されています。

その一つ目の目標が、「貧困をなくそう」、二つ目が「飢餓をゼロに」となっています。しかし、2018年現在で、全世界で推計8億2000万人が飢餓状態にあるとされています。これは世界で9人に1人が飢餓状態にあるということになります。

私たちは、この日本という国で、豊かな生活を送っています。しかし、世界中の人が日本人並みの生活をしたら地球が2.8個分必要になると言われています。さらに、アメリカ人並みの生活をしたら地球は5個いるということだそうです。私たちは、すでに持続できないレベルでの生活を送っていることになります。

資本主義という経済の仕組みの中で、私たちは豊かな生活を手に入れましたが、どうもこのままではいけないということがわかってきました。新しい社会の仕組みが必要なのです。これらの問題を解決するのは、皆さんの世代です。しかし将来の望ましい社会の在り方を考えるためには、今の現実の社会を見る力を養う必要があります。皆さんは商業高校の生徒として、ビジネス基礎や簿記、財務会計といった科目を学び、社会を見る目を養うとともに、国語、数学、英語などの普通教科の学習で、商業を学ぶ基盤を作っています。次の学年での学びをしっかりしたものにするためにも、ぜひこの春休み、これまでの学習で不十分であったところを一つでも補い、確かな手ごたえを持って4月を迎えてください。

4月8日の始業式では、皆さんの生き生きとした笑顔に出会えることを楽しみにしています。

以上で、3学期終わりにあたってのお話を終わります。